

巻 頭 言

大学院医学研究科長 久光 正

昭和大学大学院医学研究科は、「先端的研究を進め、高度な医療を担う人材を育成し、生命科学の進歩と文化の発展に貢献する」昭和大学大学院の理念のもと、医学的研究を通して、深い洞察力と高度な専門的知識を備えた医師および医学研究者を育成することを目的としています。

医学研究科のカリキュラムポリシーには上記の目的を達成するための教育課程と実施の方針が明記されています。大学院生は1)生理系 2)病理系 3)社会医学系 4)内科系 5)外科系のいずれかの専攻分野に属して研究を行います。まず、医学研究を実施していく上での基本的な知識と技術を身につけるために、6つの共通科目を受講し、単位を取得しなければなりません。これは各自が取り組む研究の遂行に役立つ科目で、本学大学院カリキュラムの特長でもあります。

医学研究科博士課程所定の単位を取得し、独創的な研究により従来の学術水準に新しい知見を加える学術論文を発表すると学位審査を受けることができます。提出された学位論文をもとに専門的知識、教育・研究能力等が審査され、最終試験に合格すると博士（医学）の学位が授与されます。

研究を行うには動物実験委員会や医の倫理委員会などに研究計画書を提出し、研究計画の倫理性や合理性などの承認を受けなければなりません。これらの委員会では「臨床研究に関する倫理指針」（厚生労働省）、「動物実験の適正な実験に向けたガイドライン」（日本学術会議）等の各種規定をもとに研究計画実施についての審査を行います。研究実施に際しては常にヒトや実験動物に対する倫理性を守ってください。なお、ヒトを対象とした研究では特に個人名の匿名化をはじめ個人情報の流出がおこらないよう特段の注意を払ってください。

本学大学院医学研究科に入学された皆さんが大いなる研究成果をあげ、社会に貢献されることを期待します。